

広島もみじまんじゅうラウンド

番外編 報告書 H25.10.12(Sat) 安田女子大学

三連休初日、秋風が心地よいさわやかな天気のもと、九州はもとより、東京、山口、島根、愛媛と各地から38名も参加していただき、熱い体育論議が交わされました！

1 トピックス：～コラボ企画「子どもの体力向上策の今を考える」

視点

- 各県の現状をどのように支えたらよいか
- 体力とはなにか。
- がんが鍛えないで体力向上ははかれるのかへの疑問
- 発達段階の段階での考え方
小学校・・・巧緻性、柔軟性
中学校・・・持続性
高等学校・・・パワーとサーキットと一歩にとらえる危険性

佐藤代表より、子どもの体力の現状や国の動向についての情報提供の後、「体力とは何か?」「がんが鍛えないで体力向上は図れるか?」などの問題提起がされました。そして、安田女子大学徳永教授からは広島市での、愛媛大学日野准教授からは愛媛県での体力向上の取組について紹介していただき、グループごとにセッションを行いました。参加者からは、「『数値には表れない、見えない体力』にも目を向けることが必要」「ただ鍛えるではなく、子どもたちの意欲を引き出せるようにすることも大切なのでは?」などの意見が出されました。自分の健康や体力を高めていくことに向き合い、豊かにスポーツと関わっていける子どもたちを育てていきたいと改めて感じました。



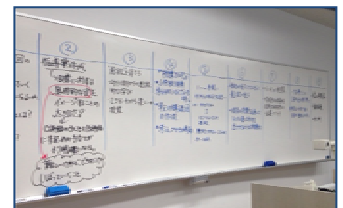
自分の受けてきた教育や教育実習での経験から感じていることなど、学生さんから出された意見は、核心に触れるものが多く、本当の意味での体力向上とは?と、考えさせられました。(参加者意見より)

2 情報提供&意見交換「いつやるの?今でしょ!」～体育の今を知れば、やるべきことが見えてくる～

宮崎県教育庁スポーツ振興課谷口さん、佐賀県伊万里市立伊万里中学校福井さん、広島県北広島町立芸北中学校津田さんの3名より、県や各学校での取組について情報提供していただきました。学習指導案を作成する上で欠かせないポイントや、実践に即活きる単元構造図にするための仕組み、そして、新領域として開発中の「挑戦科」など、体育の「今」を知ることで、「体育の授業充実が一番」「授業力UP」「子どもたちにとって多くの学びのある授業に」という「不易」の部分も見えてきたように思います。参加者からは、「連続した学びにしていくことが不可欠」「体育の授業を通して、子どもの活力を引き出そう」などの意見が出されていました。

3 その他

今回は「九州ネット～番外編～」ということで、中四国で初めての開催でした。人と人が「つながる」、取組が「つながる」、大学・学校・教育委員会が「つながる」ではないですが、立場や地域を越え、「つながる」ことが、体育科教育の充実のために大事だということを再確認しました。ネットワークの『輪・和』を大切にしていきたいです!そして、会場を準備してくださいました安田女子大学の徳永先生、本当にありがとうございました。(安田女子大の設備のすばらしさ、環境の美しさに感嘆の声が上がっていました)来年もどうぞ、よろしくお願ひします。



<次回予告>

佐賀むつごろうラウンド 11/22(金) 17:00～19:00

場所:佐賀市勤興公民館

内容:「第52回九州地区学校体育研究発表大会佐賀大会」を振り返って



報告者 清田美紀